

第1回施設管理研修会 (BCP発動時の初動対応について)

- 日 時 令和3年11月16日(火) 13:30~16:40
- 出席者 39病院50名・委員11名
- 開催方法 Web開催

講演 BCP発動時の初動対応に注目したBCP策定見直しのポイント

講師 SOMPOリスクマネジメント株式会社
医療・介護コンサルティング部サービスグループ 北本 渉 上級コンサルタント



BCPとは、災害の発生後継続すべき業務が速やかに復旧できるためのものである。しかし、医療機関は通常業務の継続だけでなく被災者の救急対応が求められる、通常業務の継続以上の計画を立てる必要がある。BCP作成の大きな流れとしては、自院の方針、組織体制の確認のち、想定→計画→対策の順にBCPを作成する。想定には自院の建物やスタッフ、機能などの情報、地域にどのような災害の可能性がありどの程度の被害が考えられるか、また地域が自院に及ぼす影響

など様々な情報収集が必要である。地域の状況については地域防災計画などを参考にして、具体的な被害を検証していく。その想定をもとに病院に求められる役割や業務を特定し行動計画を作成する。行動計画を作成したのち訓練などで必要な資源の特定、課題の明確化、及び改善の計画を立案していく。

最後に、有事の時に有効にBCPを活用するためには平時の組織体制が重要であり、それを整えることで有事に対して計画を実行できると結ばれた。

グループディスカッション

講演終了後、約20人ずつの3グループに分かれ、事前にとった質問をもとにグループディスカッションを行った。実際にBCPを作成している医療機関は2病院のみであり、作成した医療機関に未作成及び作成中の医療機関から、参考にした資料などを教えてほしい、作成の進め方などの質問があった。病院のBCP作成に

は自院の情報、地域の状況、被害想定、ライフライン確保等確認し業務を継続していくことに加え被災者に対する支援を考えていく必要がある。個人や自院のみで考えていくには考えがまとまらないこともあり、このような研修会を活用しBCPの作成に努めていきたい。

(施設管理委員 田中聖隆)